

1月から開催中

- 2015年4/12(日) 特別展「餅・モチ〜ハレの食〜」
仙台市歴史民俗資料館
- 10(土)〜3/1(日) 小企画展「感覚をはかる」
スリーエム仙台市科学館
- 20(火)〜3/15(日) 企画展「地底の森ミュージアム2014〜森と人と生きもの〜」
地底の森ミュージアム
- 20(火)〜3/15(日) 「ミュージアムフォトコンテスト 一水河期の森」編文の森の風景〜作品展
地底の森ミュージアム・仙台市編文の森広場
- 23(金)〜3/22(日) ミニ企画展「編文人と動物のかかわり」
仙台市編文の森広場
- 31(土)〜2/1(日) 天文台まつり
仙台市天文台
- 31(土)〜3/22(日) 特別展「わが愛憎の画家たち―針生一郎と戦後美術」
宮城県美術館

2月

- 7(土) まちなか美術講座 東北工業大学一番町ロビー 13:00〜
宮城県美術館
- 7(土)、14(土)、21(土) 編文ふゆのコンサート
仙台市編文の森広場
- 7(土)〜4/19(日) 企画展「井上ひさし資料特集展4」
仙台文学館
- 8(日)、15(日) 動物公園うらがわたんけん隊
仙台市八木山動物公園
- 8(日)、22(日) たのしい地底の森教室「富沢発掘映写会」(2/8)・
「ギャラリートーク」(2/22) 13:30〜14:30
地底の森ミュージアム
- 14(土) 楽しい化学実験室(要申込)
スリーエム仙台市科学館
- 15(日) 大人の科学教室「クラゲの秘密」(要申込)
スリーエム仙台市科学館
- 20(金)〜3/18(木) レコーディングインプログレス
-3がつ11にちをわすれないためにセンター活動報告展-
せんだいメディアテーク 2月26日(木)は休み
- せんだいメディアテークは、東日本大震災による大きな影響に対し、市民・専門家・スタッフが震災の復旧・復興の過程を記録・発信するためのプラットフォームとして「3がつ11にちをわすれないためにセンター」を開設しました。
震災から5年目を迎えるこの機会に、わすれずに寄せられた記録群から垣間見ることができる東日本大震災の様相の断片を紹介します。

3月

- 21(土) 大人の動物園セミナー(要申込)
仙台市八木山動物公園
- 21(土)〜22(日) としよかん・メディアテークフェスティバル
せんだいメディアテーク
- ワークショップ「太陽の通り道をたどろう!〜アナレクマのふしぎ〜」
仙台市天文台 晴天時に実施、悪天候時は要週以降へ延期
- 1(日)〜6(金) せんだいデザインリーグ2015卒業設計日本一決定戦
せんだいメディアテーク
- 1(日)、8(日)、15(日)、22(日) 美術館講座
「戦後の美術と批評をめぐって」(要申込)
宮城県美術館
- 1(日)〜31(木) 被災地関連展示「若林区六郷・七郷のくらし」
仙台市歴史民俗資料館

SMMA参加館の今後の情報をチェックしよう!
3月14日(土)〜18日(水)に開催される国連防災世界会議に併せた特別展示もぜひ足をお運びください。

3月

- 7(土) 大人の動物園セミナー(要申込)
仙台市八木山動物公園
- 動物公園うらがわたんけん隊
仙台市八木山動物公園
- たのしい地底の森教室「英語解説ツアー」(3/8)・
「遺跡保存の裏話」(3/22) 13:30〜14:30
地底の森ミュージアム
- 移動天文台〜ペガサスが星空ウオッチング〜 権岡公園
仙台市天文台
- 第3回国連防災世界会議関連展示
「東日本大震災を伝えつづける」(仮)
●川内坂ホール、東北大学理学部自然史標本館(総合学術博物館)の2会場にて開催
東北大学総合学術博物館
- MRシステムによる3次元震災遺構の展示実演や、東北大学、警察、消防、自衛隊等、さまざまな分野の救援・救助活動や研究に関する解説パネルを展示します。
- 14(土)〜18(木) せんだいデザインリーグ卒業設計日本一決定戦2015
活動記録
せんだいメディアテーク
- 日本全国から出展された大学生の建築卒業設計を、公開の場で建築家らが審査する競技大会「せんだいデザインリーグ卒業設計日本一決定戦(SDL)」この大会の歴史や今期大会(「SDL2015」2015年3月1日〜3月6日開催)の模様、防災・復興に関連した受賞作、また大会を運営する学生団体の復興支援活動についてパネル展示で紹介いたします。
- 14(土)〜18(木) 東日本大震災とミュージアム ●せんだいメディアテーク2階
SMMA企画
- 平成24年度に実施した東日本大震災におけるミュージアムの被災状況と復旧プロセスに関する調査をもとに、その後の追跡調査や各館による報告資料を通してみてきた、ミュージアムの被災と、復旧・復興過程における地域社会との関係についてパネル展示で紹介いたします。
- 17(火)〜6/17(木) 生誕120年記念 デザイナー芹沢銈介の世界展(巡回)
東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館
- 22(日) 大人の科学教室
「歴史の中のサイエンス」(要申込)
スリーエム仙台市科学館
- 28(土) ワークショップ
「星座を立体的に見てみる」(要申込)
仙台市天文台
- 再オープン/旬の常設展2015春
仙台市博物館

4月

- 24(金)〜6/21(日) 東日本大震災復興祈念特別展
「国宝 吉祥天女が舞い降りた!〜奈良 薬師寺 未来への祈り〜」
仙台市博物館
- 25(土)〜6月下旬 特別展「とくとるマンパワー代記 北杜夫展」(仮称)
仙台文学館
- ゴールデンウィークおもしろ昔たいけん(第1部)
仙台市歴史民俗資料館
- 25(土)〜6/14(日) 企画展「暮らしの中のリサイクル〜明治・大正・昭和〜」
仙台市歴史民俗資料館

5月

- 2(土)〜5(火・祝) ゴールデンウィークおもしろ昔たいけん(第2部)
仙台市歴史民俗資料館
- 2(土)〜7/26(日) 杉戸洋展
宮城県美術館
- ゴールデンウィークイベント
仙台市八木山動物公園

SMMA 参加館の紹介

01 スリーエム仙台市科学館

所在地 千981-0903
仙台市青葉区原森公園4-1

開館時間 9:00〜16:45(入館は16:00まで)

休館日 月曜(祝日は開館)、祝日の翌日、第4木曜(12月を除く)、12/28-1/4

お問い合わせ ☎022-276-2201

ホームページ <http://www.kagakukan.sendai-c.ed.jp/>

02 仙台市縄文の森広場

所在地 〒982-0815
仙台市太白区山田上ノ台10-1

開館時間 9:00〜16:45(入館は16:15まで、体験活動の受付は9:00〜12:00、12:30〜15:00)

休館日 月曜(祝日は開館)、祝日の翌日、第4木曜(12月を除く)、12/28-1/4

お問い合わせ ☎022-307-5665

ホームページ <http://www.city.sendai.jp/kyouiku/jyomon/>

03 仙台市天文台

所在地 〒989-3123
仙台市青葉区錦ヶ丘9-29-32

開館時間 9:00〜17:00(土曜日は21:30まで、展示室は17:00まで) 最終入館は閉館30分前まで

休館日 水曜・第3火曜(祝日は開館、翌日休館)、年末年始(中学校長期休業中は開館)

お問い合わせ ☎022-391-1300

ホームページ <http://www.sendai-astro.jp/>

04 地底の森ミュージアム(仙台市富沢遺跡保存館)

所在地 〒982-0012
仙台市太白区長町南4-3-1

開館時間 9:00〜16:45(入館は16:15まで)

休館日 月曜(祝日は開館)、祝日の翌日、第4木曜(12月を除く)、12/28-1/4

お問い合わせ ☎022-246-9153

ホームページ <http://www.city.sendai.jp/kyouiku/chiteinomori/>

・スマホアプリ「ミュージアムに行こう」ができました

「ミュージアムに行こう」は、SMMA参加12館のイベント情報が見られるアプリです。アプリでは各館のイベントをリストやカレンダー表示で見たり、気になったイベントや展覧会の通知を受けることができます。ぜひ仙台のミュージアムに行くためのお役立ちツールとしてご利用ください。

Android: [Google play](#) | Download on the App Store

05 仙台市博物館

所在地 〒980-0862
仙台市青葉区川内26

開館時間 9:00〜16:45(入館は16:15まで)

休館日 館内改修工事および国連防災世界会議開催にともない、3月末(予定)まで休館中
月曜(祝日は開館)、祝日の翌日、12/28-1/4

お問い合わせ ☎022-225-3074

ホームページ <http://www.city.sendai.jp/kyouiku/museum/>

06 仙台市八木山動物公園

所在地 〒982-0801
仙台市太白区八木山本町1-43

開館時間 3〜10月9:00〜16:45(入館は16:00まで)、11〜2月9:00〜16:00(入館は15:00まで)

休館日 月曜(祝日は開館、翌日休館)、12/28-1/1

お問い合わせ ☎022-229-0631

ホームページ <http://www.city.sendai.jp/kensetsu/yagiyama/>

07 仙台市歴史民俗資料館

所在地 〒983-0842
仙台市宮城野区五輪1-3-7(権岡公園内)

開館時間 9:00〜16:45(入館は16:15まで)

休館日 月曜(祝日は開館)、祝日の翌日、第4木曜(12月を除く)、12/28-1/4

お問い合わせ ☎022-295-3956

ホームページ <http://www.city.sendai.jp/kyouiku/rekimin/>

08 仙台文学館

所在地 〒981-0902
仙台市青葉区北根2-7-1

開館時間 9:00〜17:00(入館は16:30まで)

休館日 月曜(祝日は開館)、祝日の翌日、第4木曜(12月を除く)、12/28-1/4

お問い合わせ ☎022-271-3020

ホームページ <http://www.sendai-lit.jp/>

・お問い合わせ

仙台・宮城ミュージアムアライアンス事務局
〒980-0821 仙台市青葉区春日町2-1
せんだいメディアテーク内
☎022-713-4483
(9:00〜17:00、土日祝休み)
2015年1月23日 仙台・宮城ミュージアムアライアンス発行

09 せんだいメディアテーク

所在地 〒980-0821
仙台市青葉区春日町2-1

開館時間 9:00〜22:00
※一部サービスは時間が異なります。

休館日 第4木曜(12月を除く)、12/29-1/3

お問い合わせ ☎022-713-4483

ホームページ <http://www.smt.jp/>

10 東北大学総合学術博物館

所在地 〒980-8578
仙台市青葉区荒巻青葉6-3

開館時間 10:00〜16:00

休館日 月曜(祝日は開館、翌日休館)、お盆、8月最終日曜、年末年始

お問い合わせ ☎022-795-6767

ホームページ <http://www.museum.tohoku.ac.jp/>

11 東北福祉大学 芹沢銈介美術工芸館

所在地 〒981-8522
仙台市青葉区国見1-8-1

開館時間 10:00〜16:30(入館は16:00まで)

休館日 日曜、祝日、展示替え期間、入学試験日

お問い合わせ ☎022-717-3318

ホームページ <http://www.tfu.ac.jp/kogeikan/>

12 宮城県美術館

所在地 〒980-0861
仙台市青葉区川内元支倉34-1

開館時間 9:30〜17:00(発券は16:30まで)

休館日 月曜(祝日は開館、翌日休館)、年末年始

お問い合わせ ☎022-221-2111

ホームページ <http://www.pref.miyagi.jp/site/mmoa/>

旬の見験楽学便

2015年3月14日(土)〜18日(水)に開催される国連防災世界会議。SMMA(仙台・宮城ミュージアムアライアンス)のさまざまな取り組みを紹介します。



特集 東日本大震災とミュージアム
レポート ミュージアムユニバース ~すてき・ふしぎ・おもしろい~
お知らせ SMMA参加館イベントカレンダー(2015年1月〜5月)

Hello! センダイミュージアム

仙台の文化は 外国の方にはどのように映るのでしょうか?

SMMA(仙台・宮城ミュージアムアライアンス)は、知的情報資源である仙台・宮城地域のさまざまな博物館など12館(2015年1月現在)による共同事業体です。ウェブサイトによる情報発信や複数の館のコラボレーションによる展示・イベントなどによりミュージアムの新しい魅力をお届けします。

参加館

- スリーエム仙台市科学館
- 仙台市博物館
- 仙台市歴史民俗資料館
- 仙台市編文の森広場
- 仙台市八木山動物公園
- 仙台市歴史民俗資料館
- 仙台市天文台
- 仙台市歴史民俗資料館
- 地底の森ミュージアム
- せんだいメディアテーク
- 東北大学総合学術博物館
- 東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館
- 宮城県美術館

この写真はリサイクルできます。

仙台の文化は、外国の方にはどのように映るのでしょうか？
仙台で暮らす留学生・CIR(国際交流員)*に、街や人、ミュージアムの印象を聞いてみました。すると、私たち日本人にも新鮮な発見がたくさん。彼らの意見から、外国人と交流するコツも見えてきます。

*CIR(国際交流員)…Coordinator of International Relationsの略称で、外国人向け市政情報の翻訳や海外からの訪問団対応、イベント等での通訳、異文化理解講座や外国語講座での講師など、国際交流のために幅広い活動を行っています。

わたしたちの センダイ・ライフ

—皆さんは仙台に来て何年目ですか？仙台に来たきっかけは？

モニカ 仙台は3年目ですが、その前は愛媛県で3年間ALTをしていました。愛媛から一旦アメリカに帰国し、仙台にはCIRとして来たんです。

アリーセ 私は仙台に住み始めて2年半ほどです。その前は大阪の大学で研究員をしていました。仙台の言葉には、もうだいぶ慣れましたよ。大学の授業でおばあさんたちと接したりするので、少しですけど仙台弁もわかるようになりました。

デイヴィッド 私は仙台に来て1年半くらい経ちましたが、その前は神戸の大学にいたので、合わせて2年弱日本に住んでいます。

—日本の生活の中で何か気になることはありますか？

モニカ アパートの部屋が狭いこと。私は震災後に仙台に来て「地震のときは机の下に隠れたほうがいいよ」とみんなにアドバイスを受けました。でも机を持っていなかったんです。それで避難用に机を買ったら、部屋がより狭くなってしまって身動きがとれない！

一同笑

デイヴィッド 私も同じく部屋が狭いんだけど、アパートにいる時間が短いらとくに不自由はしていないかな。

アリーセ 私は夫と子どもと3人で、昭和風の古いアパートに住んでいます。3人とも、その雰囲気すごく気に入っていますよ。娘も、産まれたときから量の部屋にいるせいか量を見ると喜びます。地震のときに避難できるテーブルもありますよ(笑)。

ミュージアムの身近な雰囲気が魅力！

仙台のミュージアムは “あたたかい”

—仙台のミュージアムで、何か気になったことはありますか？「母国のミュージアムと比べてこんな違いがある」などは？

アリーセ 仙台で「ミュージアムは楽しい場所だ」ということに気づきました。説明がわかりやすいし、なにより体験が多くて楽しいんですよ。たとえば博物館でも『さわってみて』という

Hello! センダイミュージアム

モニカ
(アメリカ出身)



アリーセ
(ラトビア出身)



デイヴィッド
(イギリス出身)



コーナーがあったり、ビデオでの解説も付いていたり。興味のないジャンルのものでも理解ができます。ラトビアの博物館はもっとクラシックな感じ。だから体験できるものが多いことは魅力的だと感じました。ただ、簡単にでもいいので英語の説明がもっと欲しいです。

モニカ 私も、英語の表記がもう少し欲しいなと感じました。だけど、それ以外は日本のミュージアムはいいところがたくさん。まず、わからない人の気持ちを考えているなど感じます。細かいところまで気を配っていて、なんとというか…あたたかい気持ちになりますね！アメリカのミュージアムは、アカデミックな雰囲気や堅さがあります。でも日本のミュージアムは、わからない人を受け入れてくれる親しみやすさがあります。かわいいキャラクターなどもありますね。

デイヴィッド 私が1つ驚いたのは、日本のミュージアムは有料なこと。ロンドンの博物館は無料なので、お金を払わなければいけないことにびっくりしました。でも、素晴らしいと思ったところもたくさんあります。それは、昔のものをきちんと守っているところ。仙台市博物館の「半分しかない政宗像」*とか、仙台市縄文の森広場にある「竪穴式住居」(復元)とか、昔のものを見ることができるとは嬉しい。

アリーセ そうそう！昔と今のつながりを感じられる。私がおもしろいと思ったのは、ミュージアムのスタッフが手作りしたものの展示。「現在の人々が昔の技術でこれを作りました」とあって、今を生きていても昔と同じものを作れるということに感激しました。

モニカ 地底の森ミュージアムで、鹿の角を使って石を叩いて「槍先」を作ったことがあります。そのときにスタッフの方に「これは昔の人と同じテクニックを使って作ったので、落さないように大切に保管してください。うっかり外で落とすと、昔の石器だと思われてしまうので」と言われ、興奮しました。

アリーセ 完成品には、それぞれ自分の名前を書きましたよね！

モニカ 仙台市歴史民俗資料館のツアーも素晴らしいです。徴兵された兵士たちやその家族の気持ちを解説していたり、戦終直後の黒塗教科書も展示してあったり。

デイヴィッド 建物の一部が明治時代からそのまま残っていることも素晴らしいと思いました。展示については、説明をあまり長く書かずに実物をしっかり見せていることも印象に残りました。

アリーセ 私はせんだいメディアテークの「考えるテーブル」の机や椅子が全て黒板になっていることに興奮しました。すべての面にメモができるなんておもしろい！

モニカ チューブから出ずにツアーができるのもおもしろかったですよね。

デイヴィッド チューブがガラスだから各階で行われているイベントが見えて、特別なプロジェクトも身近に感じられるのが新鮮でした。あとは、仙台市天文台もおもしろい。望遠鏡が非常に大きいし、

屋間の快晴の天気でも星が見られて感動しました。

モニカ その巨大な望遠鏡をタッチスクリーンで動かせるのもおもしろかった！スクリーン上の月をタッチしたら月の方角に望遠鏡が動き、その動きに合わせて宇宙っぽい音楽が流れる。日本らしい演出だなと思いましたね。



「昔のテクニックを使って石器づくり体験ができたのは興奮した」アリーセ

コミュニケーションは 日本語でもOK!

—仙台に住む私たち日本人が外国の方々をお迎えするときに、何かアドバイスはありますか？

アリーセ 構えずに接してほしいですね。外国人がみんな英語を上手に話せるわけではないし、外国

体験が多く「楽しめる」のが素晴らしい!



「体験が多いし、作ったものを持って帰れるのも思い出になってうれしい」デイヴィッド

人も日本人に完璧な英語を求めているわけではないはず。だから、ジェスチャーや、簡単な日本語、絵を描いての説明でも充分。英語のレベルを心配する必要はありませんよ。大切なのは「わかってあげること」かなと。

デイヴィッド 私もアリーセさんと同じ意見です。以前、道に迷ったときに、近くにいた日本人に簡単な日本語で尋ねたのですが「英語できない英語できない!」と逃げられてしまったことがありました。日本語で話しかけても、顔が外国人だから英語を話していると思われたのかもしれない。でも、そういう反応だと悲しくなるし「私の日本語は間違っているのかな」と自信がなくなってしまう。英語で返さなくてもいいので、コミュニケーションをとれたら外国の方々はとてうれしいと思いますよ。

モニカ 私は、仙台の方々にぜひミュージアムを見てほしいです。自分の街をもっと知ったら仙台での暮らしをより楽しめると思います。外国からの観光客にも、仙台を誇らしく説明できると思いますよ。

*戦前、仙台城本丸にあった伊達政宗騎馬像の胸像部分。戦時中、武器・弾薬などをつくるために伊達政宗騎馬像も供出されましたが、仙台の礎を築いた政宗公のお顔は守られ、現在も仙台市博物館の館庭にて「伊達政宗胸像」として見るすることができます。

昔のままの姿も見られておもしろい!



発行/仙台・宮城ミュージアムアライアンス
「平成26年度文化庁地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業」
★SMMA参加館を中心に、市民センター、図書館など仙台市内各所で配布予定。



ミュージアム紹介パンフレット 「The Sendai Museum Experience」

デイヴィッド、モニカ、アリーセの3人が中心となって、SMMA参加館を英語で紹介するパンフレットを作成しています。3人が各ミュージアムの視察に行き、気付いた点やオススメしたい点を丁寧に解説。SMMA参加館を中心に配布中で、3月には2号目も完成予定!

東日本大震災とミュージアム

博物館や美術館ばかりでなく、水族館や動物園など、ミュージアムと呼ばれる施設にはたくさんの種類があります。東日本大震災のときには、それらのミュージアムもさまざまな被害にさらされました。もちろん、人の命に直接結びつくことはないミュージアム。震災の時にそこで何があったかについて、ことさらに言い立てるようなことはないのかもしれませんが、しかならぬことに、地域のミュージアムがどんな困難に直面し、どんなことに役に立ったのか、あるいは立たなかったのか、それをしっかりと未来に伝えることは、これからのミュージアムのあり方を考える上でも重要なことにはずです。

SMMAでは、2012年、被災地のミュージアムの被災から再開に至る経過について調査を行いました。そのレポートは、ウェブサイト (<http://www.smma.jp/survey/>) に掲載されています。また、来る3月の国連防災世界会議の期間中は、せんだいメディアテークの2階で、「東日本大震災とミュージアム」と題するパネル展示も予定しています。ライフラインが切断された館で、文化財や生き物たちを守るため、時間との闘いがあったこと、放射能汚染の拡がり懸念されるなかで、隣県でも収蔵品の避難の方法が議論されていたこと、津波で流出した文化財の救出や地域の文化財の被害調査などに、全国の学芸員や専門家たちが集まって取り組んだこと、館の再開後、大規模な展覧会が復興支援の名の下に次々と開催される一方で、再開はおろか施設の復旧すらままならない館もあったことなど、忘れてはいけないことは少なくありません。

東日本大震災は、私たちに想定外のことが起こること、人間の知っていることはまだまだ世界のほんの一部にすぎないことを見せつけました。しかし多くのミュージアムは、既存の知識や価値観を要領よく伝えることを優先するあまり、人々が未知への問いかけを続ける場としては十分機能できていなかったの

ではないかとも思います。権威に頼ることなく、ひとりひとりが常に問いかけ、他者の声を聞き、語り合い、想像することこそ、私たちが震災から学んだ最も大切な教訓であるとしたら、ミュージアムにもこれまでとは違う新しい役割や機能が求められていく可能性があるかもしれません。

仙台・宮城ミュージアムアライアンス (SMMA) 運営委員長 佐藤 泰



被災した石森美術館(石巻市)の入り口に仮設されたペナには、訪れた人の応援メッセージがびっしり 2012年5月



リアス・アーク美術館(気仙沼市)での被災物の展示

パネル展示「東日本大震災とミュージアム」

2015年3月14日(土)～18日(水) 10:00～20:00
せんだいメディアテーク2階

展示に関しては裏面参照



子どもも大人も楽しく学んだ2日間

「ミュージアムユニバース～すてき・ふしぎ・おもしろい～」

12月19日(金)と20日(土)、SMMA参加館がせんだいメディアテークに集まりました。各館の専門家によるトークや体験、展示など、ミュージアムがより身近に感じられる充実の内容。学芸員や各館のスタッフと気軽にふれあうこともでき、両日とも幅広い世代でにぎわいを見せました。来場者数は2日間で合計1,700名余り。トークイベントでは、学芸員が自らの仕事内容を紹介したり、ミュージアムを拠点にボランティアなどを行っている大学生が活動を紹介したりと、このイベントならではのプログラムも。ミュージアムに関心がある方も、まだなじみがなかった方も、思い思いの“学びの時間”を過ごしていました。また、普段は各々の場所で活動しているミュージアムのスタッフにとっても、こうして一堂に会することで、互いに刺激を受け合い、また新たなつながりが生まれていたようです。

